

#### 4 新たな事業・制度との連携・活用による取組の促進

##### ④多様な主体が参加を促進するための地域独自の枠組

###### 兵庫：阪神北里山博物館事業

モデル事業をきっかけとして、北摂地域では里地里山の価値が再評価され、その保全を図る動きがさらに活発になった。それとともに、地域おこしにも里地里山を利用する機運が生じてきた。このような中、兵庫県阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所林業課では、平成18年度から「阪神北里山博物館事業」を展開している。主旨と目的は次のとおりである。

この地域は、大都市近郊にもかかわらず豊かな里山林が広がり、日本一の里山と称される生産林が現在でも残っている。さらに里山ボランティア活動をはじめとする多くの活動やイベント等、里山に関する豊富なコンテンツを有している。

これらをエコミュージアムの手法で分かりやすく発信するとともに、里山利用を推進することにより保全を図り、平成6年度に開催された全国育樹祭の継承を目指す。

事業内容は次のようなものである。

##### ◇阪神北里山博物館協議会の設立

当モデル事業の懇談会を母体とする協議機関として、自治体、NPO、地域住民、専門家による協議会を設立。

##### ◇18年度「黒川里山まつり」

事業1年目の最大のイベントとして川西市で開催。クヌギ林の価値を普及。

##### ◇19年度「高平里山まつり」

2年目の大きなイベントとして三田市で開催。

